

《令和4年度 国際製菓専門学校 学校関係者評価委員会 評価報告書》

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準1</p> <p>教育理念目的・育成人材像</p>	<p>(1)本校の教育目標「知(ち)・技(ぎ)・倫(りん)・汗(かん)」とその理念は、「学生生徒便覧」等に、わかりやすく、明示されている。学外へも、主にホームページ、学校パンフレットで公表している。</p> <p>(2)本校では定期的カリキュラム等を見直している。今後も「教育課程編成委員会」への諮問や、業界の動向などを見ながらカリキュラムの編成を行っていく。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <理念・目的・育成人材像> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学直後の「宿泊研修」がガツンと響いた。人間として引き締められた。<あいさつ>などの本校の教育方針の主体を修得できた。 ・職業人、人間としての土台作りの教育がしっかりしている。 ・パン作りにおいても、信頼される人間性が大事。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から再開となった「宿泊研修」については、「厳しさ」だけを追求するのではなく、仲間づくりなどのコミュニケーションなども重視するように運営している。なお、今年度は宿泊施設の自主清掃を行い、感謝状を授与された。 ・今後も、教育目標の「倫(りん)・汗(かん)」にも照らし、技術面のみならず、人間教育も重視していく。
<p>基準2</p> <p>学校運営</p>	<p>(1)業務運営における意思決定は、学校法人及び学校内の各会議によってなされる。最高議決機関としての「理事会」とその諮問機関である「評議員会」の位置づけや役割、機能も明確化され、事業計画に基づいた効率的な意思決定を図っている。</p> <p>(2)外部委員が中心となる「教育課程編成委員会」及び「学校関係者評価委員会」を定期的開催し、第三者からの視点による情報提供・助言も積極的に学校運営に反映させている。</p> <p>(3)学校業務分掌は、「運営組織図」に基づいている。詳細に各メンバーの職務分掌・責任を明記している。今後も定期的に点検し整備していく。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <運営方針> <事業計画> <運営組織> <人事・給与制度> <意思決定システム> <情報システム> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従前は、(時代背景の中で)指導の範囲内と考えられていた行為も、今はパワハラ(アカハラ)になりうる。その時代に合った教育運営が必要。 ・新しいジェンダー観(LGBT等)への対応が、今後は、より求められる。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワハラ(アカハラ)、セクハラ防止については、毎年度当初に全教職員を対象に文書を以て啓蒙している。 ・多様性、包摂性を尊重する観点より、高等課程の制服(女子)については、スラックス、ネクタイ(リボンではなく)の着用を認めている。〔性自認に対応しての〕更衣室・トイレなどの各種運用も、社会の時流に沿ったものになるよう検討している。

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準3 教育活動</p>	<p>本校の教育活動は、本校の教育理念、教育目標「知・技・倫・汗」に基づいている。</p> <p>(1) 学習指導の重点(知) ① 基礎的・基本的事項の徹底 ② 一人ひとりの生徒・学生の能力・個性を生かした授業</p> <p>(2) 実習指導の重点(技・汗) 専門技術を修得させることとともに、技術を磨くのに必要とされる「強い精神力・忍耐力・体力」も身につけさせる。また衛生管理についても徹底指導をしている。</p> <p>(3) 生活指導の重点(倫) 全教職員は共通理解のうえで一人ひとりの生徒・学生の個性・能力・適正を的確に把握した指導を行う。そのうえで、自己実現能力を修得させることを生徒・学生指導の最終目的としている。</p> <p>(4) 進路指導 就職希望者全員の要望に応えるよう懇切丁寧な指導を行う。 企業・社会からのニーズに合致した教育内容とするため、業界関係者などから意見を聴取し、カリキュラムへの反映に努めている。進学をサポートも懇切丁寧に行う。</p> <p>(5) 諸検定について(知・技) 一つでも多くの資格を取得し、社会に貢献できる人間を育成する。</p> <p>(6) 学校行事(倫・汗) 学園祭、宿泊研修、学外研修を通して生徒・学生の人間教育を行う。</p> <p>今後は、<カリキュラム・ポリシー>の策定も視野に入れ、より体系的・組織的な教育課程構造を持つ活動を目指す。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <教育内容・教育方法・評価等> <成績評価・単位認定等> <資格・免許取得の指導体制> <教員・教員組織> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義(ここでは「茶道」「茶懐石)」の受講前・受講後とでの学生態度の変容ぶりに、教育の重要性を再認識した。 ・親身のサポートが、現在の自分を支えている。個人的には、どの先生方も、「生徒の顔と名前が一致している状態」なのがうれしかった。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート体制を強化した結果、今年度の「製菓衛生師国家試験」合格率は、100%を見込んでいる。 ・人間性も含めた真のプロフェッショナルを養成する場という<原点>に立ち戻る。

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準4 教育成果</p>	<p>(1)就職・進路指導に関する体制は就職担当教員を中心に、担任と連絡を密に取り合う指導体制になっており、十分機能している。本校講師として教壇に立っている製菓製パン業界の先生方のご理解もあって毎年高い就職率を誇っている。就職率向上のため、担任・教務・実習・進路指導の各職員が、多方面から指導・アドバイスを図り、学校全体で応援する環境を整えている。</p> <p>(2)進路先のミスマッチを避けるため、在学中毎年12月の3週間に渡る企業研修については、時期を拡大して、8月の夏休みと3月の春休みにも行う対応をしている。枠を広げたことで12月の多忙月の研修移行がスムーズになり、又研修先を学生が探してくるなど、本人の意識向上や他学生に良い影響を与えている。</p> <p>(3)製菓衛生師の資格取得にも大変な力を注いでおり、また様々な各種検定にも意欲的に参加する学生生徒が増加している。特に製菓衛生師試験の在学中の受験については、毎年非常に高い合格実績をあげている。</p> <p>(4)退学者、退学予備軍が生じないよう、担任・副担任・教務・実習の各職員が、出席率・授業態度を共有し、絶えず学生生徒とコミュニケーションを取り、ケースバイケースでの面談実施を計り、情報共有化のもと、保護者との密な連絡を行う等、退学率の低減に努めている。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <就職率、資格・免許の取得率> <卒業生の社会的評価> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロからベーカリーを開業したときの経験談。先輩、同輩らに1週間泊まり込みで手伝っていただいた。応援者がいることが素晴らしかった。 ・人と人とのつながりを大切にしている。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩、後輩、同輩でサポートし合う校風を大切にしていく。 ・とくに、開業希望の後輩に、先輩がノウハウを伝授していくようにする。

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準5 学生生徒支援</p>	<p>(1) 学生生徒相談に関しては各クラス担任及び副担任を中心に学生生徒指導を行っており、個人面接も年間行事予定表に組み入れて実施している。また、進路指導担当の進路面接も必ず定期的に行っている。</p> <p>(2) 学生生徒の経済的支援については、奨学金・教育ローン・学割などの利用が可能であるほか、特待生制度が設けられており、合格者には授業料全額または半額免除という減免措置を行う。また、AO入学者や指定校推薦入学者、留学生に対しての入学金減免措置等が設けられている。</p> <p>(3) 学生生徒の健康管理面については、年度初めに校医の内科検診ほか健康診断を実施している。また、実習があるので検査機関に細菌検査を定期的に依頼している。養護教員は置いていないが、保健室があり、職員室にいる教職員全員で体調不良者やけが人の対処を行っている。学校から5分ほどのところに総合病院、また車で5分ほどのところに救急医療病院などがあり、病気やけがの状況に応じて各医療機関を利用している。</p> <p>(4) 課外活動に関しては、デコレーションの活動があり、専任教員と助手の指導のもと、長期休暇や土曜日あるいは放課後、実習室を利用しコンクール入賞を目指して前向きに活動している。</p> <p>(5) 学生生徒の生活環境については、近隣の業者と提携し担当職員が学生寮やアパートの斡旋を行っている。</p> <p>(6) 保護者との連携は、学生生徒の欠席の場合など担任が必ず家庭と連絡を取るようになっており、家庭との協力体制を普段から築くことにしている。</p> <p>(7) 卒業生の支援については、就職担当が転職等の相談に応じているほか、同窓会をたちあげ、情報交換の場を提供しようと動き始めている。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <学生相談> <就職等進路> <中途退学者への対応> <学生生活> <保護者との連携> <卒業生・社会人> など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者への情報発信方法はどうか？ ・卒業生への情報発信をSNSを利用して強化するのはどうか。 ・同窓会については、頑張りすぎないくらいのほうが長続きする。個人の経験より。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒への一斉連絡はSECOMのメール配信システムによる。(保護者については検討中) ・直近3月の卒業生の活躍を追跡し、SNSに近況をアップする企画を立ち上げている。 ・卒業生(勤務/運営)の店舗に協力を仰ぎ、本校とのつながりをアピールしていただく。 ・ビジネス上でのノウハウなどを、卒業生間で情報交換できるよう体制を強化していく。

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
基準6 教育環境	<p>(1)施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、より良い環境の中で教育学習を行えるように、かつ安全・快適な教育環境を提供できるように整備している。</p> <p>(2)学外実習は、就業体験を通して卒業後の進路を考える際に活かされている。</p> <p>(3)海外研修においては、海外の事情や異文化、習慣の見聞とともに体験を通して、広く国際理解や国際親善の精神の向上を図る。同時に専門技術・知識を修得できるプログラムが組まれている。これからは国際舞台で活躍するグローバルな視野をもつ人材の育成が大切である。海外インターンシップ制度に毎年度参加者がいることは嬉しい限りである。</p> <p>(4)今般、アジアからの留学生が増えている中、本校においては留学生が比較的少ない。学校生活の中でも、留学生を通して国際理解を図れることを考えると、留学生を増やす活動を考えていきたい。近年は、タイの王立学校との交流を図るプログラムを計画している(両国の学生生徒が相互に自国食文化を紹介するなど)。さらなる友好関係を築き、タイからの本校への留学を促すことを図る。</p>
「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとの改善方策」	<p>評価キーワード: <施設・設備等> <国際交流> <学外実習> <インターンシップ等> <防災・安全管理> など</p> <p>・国際交流についての状況は？</p> <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初のタイ研修(11月)ほぼ実施確定。生徒・保護者の反応もよい。タイの文化研修、日本料理披露、ホームステイ、史跡・寺院めぐりなどを行う。 ・ヨーロッパ研修(12月)も3年ぶり、実施する。この研修を目標で入学してきた学生も多い。 ・姉妹校 フランス ルノートルからの講師招聘も再開する(10月)。 ・海外インターンシップ[於:ハワイ]に、学生を派遣予定(12月)。 <p>ようやく、例年並みの活動ができる見込である。</p>
基準7 学生生徒の募集と受け入れ	<p>(1)現在、本校にとって最も重要な問題は、少子化に伴い、入学者の減少傾向が見られることである。このための有効な対策を見出すのはなかなか難しいが、中期的な構想を実現させるために教職員が一体的な取組みを展開できるように、今後も定期的に会議を設け、発展的な意見をさらに出しあえるような組織づくりの構築を強化する。</p> <p>(2)「食」という仕事の知識と技を専門的に学べる専門学校に進みたいと希望しつつ、経済的理由から断念せざるをえない学生生徒には、夢を叶える方法としての各種の奨学情報をPRする。</p> <p>(3)募集活動は志願者、保護者、中学・高校の先生方の考え方や動向に敏感なことが肝要である。今後も教育理念は守りつつ、志望者ニーズに柔軟に対応していく必要がある。</p>

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準7 「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校のとする改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <学生募集活動> <入学選考> <学納金> など” ・学校訪問の状況と、教員の負担感について。 ・留学生の募集状況は？</p> <p>【改善策等】 ・<学校訪問> 全員体制で廻っているが、担任を持っている教員は、自信に関係のある生徒学生の出身校をピンポイントで廻るようにしている。 ・<留学生> 去年度は厳しい中、3名受け入れた。来年度募集までは厳しい予想。 ・引き続き、幅広く包摂的な広報を行う。自信・技術を持たせて社会に出す教育を行う。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>学校法人全体の財務および会計処理状況の点検を行った。</p> <p>(1) 収入・支出の把握・処理は各学校、正確に行っており、計算書類も内訳表として作成しているので今後は、学校ごとに更に点検、評価をしていき、見直していきたい。</p> <p>(2) よりよい教育環境を維持していくため(整えるため)に財務分析を更に行っていく。</p> <p>(3) 社会への説明責任を果たし、質保証・向上に取り組む観点から、財務諸表について積極的な情報公開を図る。</p>
<p>「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校のとする改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <財務基盤> <財務情報の公開> <予算・収支計画> <監査> など” ・国際パティシエ調理師専門学校(小平)廃止の影響について。 ・各種補助金・助成金を利用できるとよい。</p> <p>【改善策等】 ・国際パティシエ調理師専門学校(小平)を廃止し、法人としては一か所での教育実践となり、経費面ではメリットがある。学生募集も回復傾向にあり、財務基盤の改善を図る。 ・冷蔵冷凍庫などが、使用開始より20年近くになり、更改の時期となっている。 ・師範台に、カメラ・モニターを設置する予定(2教室)。これまでは、天吊りミラーを設置している。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>(1) 常に法人事務局が監理することで、学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準、製菓衛生師法、調理師法などの関連法規に準拠して運営をしている。今後は、教職員・学生等に対する啓発活動を積極的に図っていく。</p> <p>(2) 個人情報の取扱いについても、方針を記述した文章を配布してそれぞれの特性に応じて管理を厳重に行っている。今後も最新情報に対応しながら、さらに厳重管理をしていく必要がある。</p> <p>(3) 現在、製菓衛生師養成施設・調理師養成施設の学科(厚生労働省管轄)については、特別に定められた書式による自己点検・自己評価を定期的実施している。</p>

大項目	令和3年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準9 「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <関係法令・設置基準等の遵守> <個人情報保護> <学校評価及び教育情報の公開> など ・特に問題はない</p> <p>【改善策等】 ・学校法人のガバナンスについては、社会の関心が増しているところである。「理事会」「評議員会」「監事」の機能の実体化をさらに強化する。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>(1) 年々、地域の方々の本校に対する興味関心が高まってきており、協力依頼が増加傾向にある。本校は移転当初から立川市に根ざした製菓学校を目指しているなのでその期待に応えることを目指す。</p> <p>(2) 製菓学校として地元の立川市などが主催するイベントには積極的に参加し、学生生徒も製菓指導者(マジパンなどの作品指導)として無償で協力している。市民のみなさんからの反応はおおむね好評である。</p> <p>(3) 学園祭・販売実習など本校の行事を通じて地元の人々との交流の機会も大切にしている。いずれも、近隣の住民の皆さんにはご好評をいただいている恒例行事となっている。</p> <p>(4) 地域企業自治体と連携・協同し、商品開発や地域活性等の活動に年間を通じて取り組む「産官学協同プロジェクト」も始動している。</p> <p>(5) 学校周辺での清掃活動は毎年度の検討事項であったが、少しずつ実行をしている。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>評価キーワード: <学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか> <ボランティア活動> など ・商店街での清掃活動についての情報提供。 ・近隣で果樹園を運営している委員より、果樹(栗・ブルーベリーなど)の収穫体験授業の提案があがった。</p> <p>【改善策等】 ・マジパン教室などの外部イベントはいまだ下火。今後盛り返していく見込。 ・月1回設定の「環境美化の日」について、清掃活動隊として外部商店街などに出ていく予定。 ・立川高島屋S.C.様での即売会(2月)に替わるイベントを検討する。</p>